

受章

◆瑞宝単光章

新谷治生さん（西方）
（元東和町消防団副分団長）



表彰

◆総務大臣表彰

末満良勇さん（久賀）
（行政相談委員）



第69回社会を明るくする運動

○標語の部

優秀

村田紀佳さん（大島中学校2年）

入選

安野 綾さん（東和中学校1年）

中田陽菜さん（久賀中学校1年）

今尾駿介くん（大島中学校1年）

松田さくらさん（安下庄中学校2年）

○主張発表の部

最優秀

木谷綾音さん（大島中学校3年）

優秀

光田結菜さん（大島中学校1年）

宮田野花さん（東和中学校2年）

松原隆太くん（久賀中学校3年）

浅海美紅さん（東和中学校3年）



▲大島郡中学校生徒の主張発表大会の様子（10月8日）

周防大島の文化財 34

銅像誕生釈迦仏立像（和田）

正岩寺の銅像誕生釈迦仏は、頭部を比較的大きく、その表情や細身の体つきなど童子のプロポーションを意図すると思われる、目鼻立にもあどけなさを表している。

頭部を無文とし、裳の裾を短くするのも古い形式で、また体を反り気味にし、やや前倒して立つ姿や播鉢状無文の連台底部に柄を刻出する形も古い。また白鳳期彫刻の特色が顕著で、その製作は7世紀にさかのぼると思われる。

ただ本像の伝来については不明であり、像高11・4cmの小像であるので持ち運びが容易であるので、当初から正岩寺に安置されたもの

かどうか疑問が残る。しかし、本像は山口県最古唯一の白鳳期の誕生仏であり、誠に貴重である。

誕生仏とは、釈迦如来が生まれた時に、七歩あるいて右手を天に向け、左手で地を指し、この世界に我よりも尊いものはないという「天上天下唯我独尊」と言ったという尊形を表した像である。日本では、釈迦の誕生日は4月8日とされ、その日には小さな堂を季節の花で飾った花御堂の中に誕生仏を安置し、甘茶を注いで祝う。いわゆる灌仏会が行われる。この像も灌仏会に用いられた立像と考えられる。



▲正岩寺の銅像誕生釈迦仏

《周防大島町文化財保護審議会会長 尾野榮明》